

教育委員会事務点検・評価報告書

(令和3年度事務事業対象)

令和4年 8月

呉市教育委員会

目 次

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 呉市教育委員会の点検及び評価	
(1) 手順	2
(2) 対象	2
(3) 方法	2
3 知見の活用	3

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会教育長	4
2 教育委員会委員	4
3 教育委員会会議	
(1) 令和3年度議決事項	4
(2) 令和3年度報告事項	6
4 研修会等への参加状況	
(1) 会議・研修会	8
(2) 行事等	8
(3) 学校訪問・公開研究会等	8
(4) その他	8

III 点検及び評価の結果

1 令和3年度対象課題と評価結果	9
2 「第5次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け	10

(令和4年度点検・評価シート)

・遠距離等通学児童生徒に対する支援(教育総務課)	11
・小中学校のブロック塀対策(学校施設課)	13
・小中学校のトイレ洋式化(学校施設課)	15
・小中一貫教育の推進(学校教育課)	17
・ICTを活用した教育の推進(学校教育課)	19
・特別支援教育の推進(学校安全課)	21
・生徒指導の充実(学校安全課)	23
・安全対策の推進(学校安全課)	25

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」が改正され、平成20年度から、教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

本報告書は、令和3年度の呉市教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

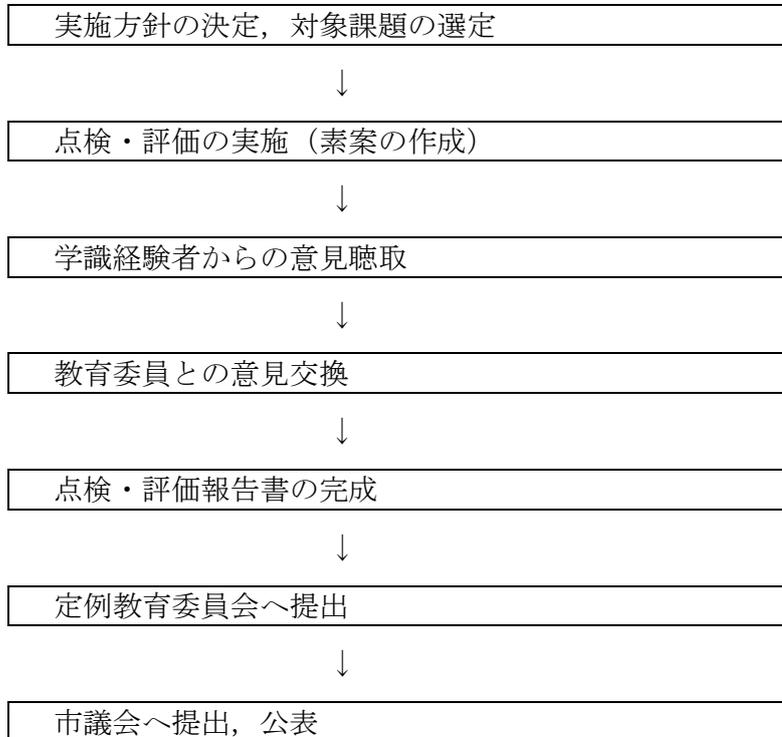
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 呉市教育委員会の点検及び評価

(1) 手順

令和3年度に呉市教育委員会において執行した事務事業について、次の手順で点検及び評価を行いました。



(2) 対象

点検及び評価は、各部署が抱えている課題のうち、それぞれが令和3年度の重点課題と位置付けているもの（全8課題を抽出。以下「対象課題」といいます。）を対象としました。

※ 本報告書では、対象課題ごとに課題解決に向けて実施した事務事業の分析・評価を通じて、今後の取組を検討しています。対象課題については、9ページ「令和3年度対象課題と評価結果」を参照してください。

(3) 方法

点検及び評価は、各部署が抽出した対象課題ごとに、次の内容を明らかにすることにより行いました。

- ・対象
- ・事業概要（事業内容）
- ・実施方法
- ・意図・目的
- ・成果指標
- ・投入資源
- ・活動実績
- ・学識経験者の意見
- ・担当課の評価（自己点検・評価、現在の課題と課題解決の取組、今後の方向性）
- ・振り返り項目

■具体的な点検及び評価の方法

対象課題ごとに、「課題解決のためにどんな取組を行ったのか」「その結果どうだったのか」「なぜうまくいかなかったのか、何が足りなかったのか」という視点で点検及び課題分析を行い、学識経験者の意見を踏まえ、達成状況等を評価し、「今後何が必要か、次年度以降にどうつなげていくのか」などについて「今後の方向性」としてまとめています。

■評価（評価結果）の判断基準

評価に当たっては、対象課題ごとに、「事業費」「人件費」「対象指標」「活動指標」「成果指標」の各項目を総合的に考察し、取組に対する達成状況を以下の基準に沿って評価しました。

指 標	評 価 に 当 た っ て の 基 準
A（達成）	十分成果が上がっている（計画どおりに進んでいる。）。
B（おおむね達成）	成果が上がっている（おおむね計画どおりに進んでいる。）。
C（一部未達成）	成果が十分でなく改善の余地がある（一部計画どおりに進んでいない。）。

3 知見の活用

点検及び評価は、その客観性を確保するため、呉市教育委員会において執行した事務事業の状況等について、次の3名の学識経験者等の方から意見聴取を行いました。

・意見聴取日 令和4年7月13日（水）

氏 名	役 職 等
あさくら あつし 朝 倉 淳	安田女子大学・安田女子短期大学客員教授
いそみち ただお 磯 道 忠 男	呉市PTA連合会副会長
ふるえ ゆきえ 古 江 由紀枝	呉市民生委員児童委員協議会会長 呉市社会教育委員

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会教育長

(令和4年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長	てらもと あり のぶ 寺本 有 伸	令和3.4.1～令和6.3.31	

2 教育委員会委員

(令和4年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長職務代理者	もり お けい すけ 森 尾 敬 介	令和2.3.27～令和6.3.26	会社役員
委員	さ さ き はじめ 佐々木 元	令和3.9.26～令和7.9.25	歯科医師
委員	こ だに まき こ 小 谷 眞喜子	平成31.4.1～令和5.3.31	会社監査役
委員	よし なか ゆみ こ 吉 中 由美子	令和3.4.1～令和7.3.31	保護者代表

3 教育委員会会議

「呉市教育委員会会議規則（平成5年呉市教育委員会規則第9号）」において、定例会を毎月1回、必要がある場合には臨時会を開催することを定めています。

令和3年度においては、定例会を12回、臨時会を2回、それぞれ開催しました。

(1) 令和3年度議決事項

提案年月日	番号	件名
令和3年4月21日	10	請願書について
令和3年5月25日	11	教育振興基本計画の策定について
	12	令和4年度に呉市立小・中学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
	13	令和4年度に呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
令和3年6月23日	14	呉市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	15	令和4年度呉市立呉高等学校入学者選抜について
	16	臨時代理の承認について（職員人事）
	17	呉市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱又は任命について
	18	呉市社会教育委員の委嘱又は任命について
	19	呉市立美術館運営審議会委員の委嘱について
	20	呉市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について

令和 3年 7月28日	21 22 23 24	請願書について 教育振興基本計画の策定について 臨時代理の承認について（契約の締結） 「教育委員会事務点検・評価（令和2年度事務事業対象）」に係る意見交換について
令和 3年 8月24日	25 26 27 28 29 30	令和4年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について 令和4年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について 令和4年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択について 令和4年度使用教科用図書（中学校「社会（歴史的分野）」）の採択について 「教育委員会事務点検・評価報告書（令和2年度事務事業対象）」について 臨時代理の承認について（令和3年度教育費補正予算）
令和 3年 9月27日	31	教育振興基本計画に係る意見交換について
令和 3年10月19日	32	教育振興基本計画（案）について
令和 3年11月25日	33 34 35 36	臨時代理の承認について（令和3年度教育費補正予算） 臨時代理の承認について（契約の締結） 臨時代理の承認について（契約の締結） 呉市立学校統合基本方針について
令和 3年12月21日	37	臨時代理の承認について（令和4年度教育費予算）
令和 4年 1月 7日	1 2 3	令和4年度教育費予算復活要求について 呉市社会教育委員の解嘱及び委嘱について 臨時代理の承認について（教職員人事）
令和 4年 1月24日	4 5 6 7 8	呉市教育委員会職員宣誓規則の一部を改正する規則の制定について 呉市立天応中学校の校地面積の変更について 令和5年度呉市立呉高等学校入学者選抜の基本方針について 呉市立呉高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について 教育振興基本計画（案）について
令和 4年 2月18日	9 10 11 12 13	学校施設の建設計画について 令和4年度「呉の学校教育」について 呉市立呉高等学校教職員の勤務時間及び休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について 臨時代理の承認について（令和3年度教育費補正予算） 呉市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱について
令和 4年 3月 9日	14 15	臨時代理の承認について（呉市いじめ問題調査委員会条例の一部を改正する条例の制定） 教職員人事について
令和 4年 3月23日	16	呉市教育振興基本計画の策定について

令和 4年 3月23日	17	呉市外国語指導助手任用規則の一部を改正する規則の制定について
	18	臨時代理の承認について(令和4年度教育費補正予算)
	19	天応地区義務教育学校の校名・校歌・校章について
	20	呉市文化財保護委員会委員の委嘱について
	21	職員人事について

(2) 令和3年度報告事項

報告年月日	番号	件名
令和 3年 5月25日	10	令和4年度使用教科用図書(中学校「社会(歴史的分野)」)の採択手続について
	11	令和4年度使用教科用図書(中学校「社会(歴史的分野)」)採択のための調査・研究要項について
	12	令和4年度使用教科用図書(小・中学校特別支援学級用)の採択手続について
	13	令和4年度使用教科用図書(呉市立呉高等学校)の採択手続について
	14	令和3年度学校別児童・生徒数等について
	15	新型コロナウイルス感染症に係る呉市立学校の状況について
	16	寄附受納について
	17	広島県に対する提案事項について
令和 3年 6月23日	18	呉市立小中学校施設の耐震化の状況について
	19	令和2年度学校安全の状況について
令和 3年 7月28日	20	寄附受納について
	21	教科用図書採択に関する他都市状況調査について
令和 3年 8月24日	22	新型コロナウイルス感染症に係る呉市立学校の状況について
令和 3年 9月27日	23	新型コロナウイルス感染症に係る呉市立学校の状況について
	24	寄附受納について
	25	令和3年度教育費補正予算について
令和 3年10月19日	26	公共工事(教育部)の発注について((仮称)天応義務教育学校校舎等電気設備工事)
	27	新型コロナウイルス感染症に係る呉市立学校の状況について
	28	専決処分について
令和 3年11月25日	29	令和2年度定期監査の結果改善又は検討を要望する事項の措置について
	30	令和2年度生徒指導上の諸課題の状況について
令和 3年12月21日	31	呉市立呉高等学校の令和4年度入学者選抜実施要項について
	32	令和3年度教育費補正予算について
令和 4年 1月 7日	1	令和4年度教育費予算について

令和 4年 1月24日	2	新型コロナウイルス感染症に係る呉市立学校の状況について
令和 4年 2月18日	3	新型コロナウイルス感染症に係る呉市立学校の状況について
令和 4年 3月23日	4 5 6	寄附受納について 新型コロナウイルス感染症に係る呉市立学校の状況について 令和3年度教育費補正予算について

4 研修会等への参加状況

(1) 会議・研修会

時 期	名 称	概 要
令和 4年 2月	広島県女性教育委員グループ第2回研修会	委員 2 名が出席

(2) 行事等

時 期	概 要
令和 3年 4月	呉市立小・中・高等学校合同校長会に出席

(3) 学校訪問・公開研究会等

時 期	名 称	概 要
令和 3年10月	小中一貫教育研究会 (横路中, 昭和中, 安浦中学校区で開催)	小中一貫教育について実践的な研究を行う学校において, 研究発表や授業参観(公開研究会)を実施
令和 3年11月	小中一貫教育研究会 (片山中, 倉橋中学校区で開催)	小中一貫教育について実践的な研究を行う学校において, 研究発表や授業参観(公開研究会)を実施

(4) その他

時 期	名 称	概 要
令和 3年 8月	呉市青少年問題協議会	委員 1 名が受嘱 ※事務局は文化スポーツ部文化振興課, 任期 2 年

Ⅲ 点検及び評価の結果

1 令和3年度対象課題と評価結果

	課名	対 象 課 題	評 価
1	教育総務課	・ 遠距離等通学児童生徒に対する支援	A
2	学校施設課	・ 小中学校のブロック塀対策	A
		・ 小中学校のトイレ洋式化	B
3	学校教育課	・ 小中一貫教育の推進	C
		・ ICTを活用した教育の推進	A
4	学校安全課	・ 特別支援教育の推進	A
		・ 生徒指導の充実	B
		・ 安全対策の推進	A

※全8課題

※評価欄「A」＝達成，「B」＝おおむね達成，「C」＝一部未達成

2 「第5次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け

注1) 前期基本計画から教育委員会関係分を抜粋

【将来都市像】

誰もが住み続けたい，行ってみたい，人を惹きつけるまち「くれ」

～イキイキと働き，豊かに安心して暮らし，ワクワク生きる～

政策分野 1 子育て・教育分野

目指すべき姿「若い世代が安心して子どもを産み育て，未来を創る人材を育てるまち」

基本政策	基本施策	主な取組
学校教育の充実	義務教育の充実	小中一貫教育を基盤とした「つながり」を重視する教育の推進 特別支援教育の推進 I C Tを活用した教育の推進 英語教育の推進 豊かな心と体を育てる体験活動の充実
	高等学校教育の充実	総合学科の特色を生かした教育の推進 自立と社会貢献への意識を育てる教育の推進
	安全・安心な教育環境の充実	安全・安心な環境整備と就学支援 いじめなどの問題行動や不登校への取組 防災教育の推進

令和4年度点検・評価シート

		評価対象年度	令和3年度
整理番号	1	課G名	教育総務課 企画G
点検項目	遠距離等通学児童生徒に対する支援	評価者	教育総務課長 宇根 徹
		作成年月日	令和4年5月31日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	11 学事費		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	18 通学支援事業		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・呉市遠距離等通学費補助金交付要綱 ・呉市補助金等交付規則
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒及び保護者					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 遠距離等通学費補助制度 児童生徒が、遠距離などのため学校長の許可を得て公共交通機関を利用して通学する場合に、その定期代相当額を保護者に補助する。 (1) 補助率 10/10 ※ 6か月定期券の券面額を補助の上限とするため、割引率の低い短い期間の定期券を購入した場合は、全額補助とならない。 (2) 保護者負担の軽減を図るため、基本的に定期券の現物支給により補助する。					
	2 スクールバス・タクシー運行業務 徒歩・自転車での通学が困難で、かつ、公共交通機関を利用して通学することが困難な地域に住む児童生徒に対して、スクールバス・タクシーを運行する。					
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	児童生徒の通学手段及び通学時の安全を確保するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。		(5) 成果指標 指標名と説明	①児童生徒の通学に係る保護者の経済的負担軽減額 ②スクールバス・タクシーの安全な運行状況		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	R1(決算)	R2(決算)	R3(決算)	R4(予算)	R5(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円	642	595			
		県支出金 ②	千円	128	119			
		地方債 ③	千円	3,300	3,000	4,500	14,300	
		その他 ④	千円					
	一般財源 ⑤	千円	97,715	101,844	107,882	106,186		
	【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	101,785	105,558	112,382	120,486		
	人件費	人役						
		正規職員(7,840千円/年) ①	人役	1.40	1.40	1.40	1.40	
		再任用職員(3,578千円/年) ②	人役					
嘱託職員(2,378千円/年) ③		人役	1.00	1.00	1.00	1.00		
上記以外 ④		千円						
【B】(①×@7,840千円+②×@3,578千円+③×@2,378千円)	千円	13,354	13,354	13,354	13,354			
フルコスト【A】+【B】		千円	115,139	118,912	125,736	133,840		
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	小 10,390 中 4,933	小 10,125 中 4,935	小 9,801 中 4,865	小 9,451 中 4,915	
		② 遠距離等通学費補助対象校	校	小 19/36 中 18/26	小 19/35 中 17/25	小 18/35 中 17/25	小 18/35 中 17/25	
		③ スクールバス・タクシー対象校	校	小 8/36 中 2/26	小 8/35 中 4/25	小 9/35 中 4/25	小 9/35 中 4/25	
	活動指標	① 遠距離等通学費補助金交付人数	人	小 966 中 644	小 903 中 609	小 853 中 609	小 865 中 642	
		② スクールバス・タクシー利用児童生徒数	人	小 205 中 41	小 186 中 63	小 175 中 65	小 161 中 64	
	成果指標	① 保護者の経済的負担軽減額(遠距離等通学費補助額)	千円	小 31,874 中 41,698	小 31,762 中 40,422	小 29,776 中 40,974	小 29,300 中 40,000	
		② スクールバス・タクシーの安全な運行(事故件数)	件数	事故 0件	事故 0件	事故 0件		
	特記事項							

4 学識経験者の意見

- ・生活バスの再編などに素早く対応し、子供たちの安心安全な通学支援ができたことを評価する。
- ・老朽化した車両については予算を確保し、更新を進めてもらいたい。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	評価結果	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離等通学費補助制度により、児童生徒の通学に係る保護者の経済的負担を軽減した。 ・スクールバス・タクシーの運行により、安全・安心な通学手段を確保した。 ・川尻地区の生活バス再編に伴い、一部の児童が公共交通機関を利用し通学することが困難となったため、弾力的にスクールバスの運行を行った。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生活バス路線の再編に伴い、児童生徒の通学手段の確保が困難になることがある。その場合、スクールバス・タクシーの運行を含め、児童生徒の通学手段を確保する必要がある。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離等通学費助成制度の継続により、児童生徒の通学時の安全確保と保護者の経済的負担の軽減を図っていく。 ・スクールバス・タクシーの運行については、経費削減のため車両や路線の見直しを行っていく。新たな路線でスクールバス・タクシーを運行する際は、財政負担ができるだけ少ない方法で運行する。 	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、経費削減のため車両や路線の見直しを行っていく。車両について一度に5台を購入することは財政負担が大きいため、更新計画を立て、老朽化した車両を順次入れ替えることで、予算の平準化を図る。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の利用人数に合わせ、車両や路線の見直しを行った。 市所有の車両の更新については、1台分予算要求を行ったが、認められなかった。

令和4年度点検・評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

整理番号	2	課G名	学校施設課 施設G
点検項目	小中学校のブロック塀対策	評価者	学校施設課長 惣引 利光
		作成年月日	令和4年5月31日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	小学校費(中学校費)		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	01 学校管理費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	小学校施設整備費(中学校施設整備費)		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	小学校施設整備事業(中学校施設整備事業)		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・学校教育法第5条 ・建築基準法施行令
	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>平成30年6月18日に大阪府北部を襲った最大震度6弱の地震により、大阪府高槻市において児童が倒壊したブロック塀の下敷きになる事故が発生した。これを受け、平成30年6月に呉市内の全小中学校のブロック塀を調査した結果、高さ超過や控え壁の不備など、建築基準法施行令で定める基準に不適合なもの(既存不適格)があることが判明した。</p> <p>また、令和3年1月の追加調査において、ブロック塀の内部点検を実施したところ、基礎や鉄筋等に不備のあるものが新たに判明した。</p> <p>これらの危険なブロック塀を撤去し、新たにフェンスを設置した。</p> <p>1 調査対象 66校 内訳:小学校38校(休校2校含む。), 中学校28校(休校2校含む。)</p> <p>2 当初調査(平成30年6月実施)</p> <p>(1) 調査結果 建築基準法施行令基準不適合及び健全度合の悪いもの:34校(小学校:21校, 中学校:13校)</p> <p>(2) 対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に緊急性の高い16校(小学校:両城小外11校, 中学校:阿賀中外3校)については、令和2年6月までに工事を完了した。 残りの18校(小学校:白岳小外8校, 中学校:郷原中外8校)については、令和2年度末までに工事を完了した。 <p>3 追加調査(令和3年1月実施)</p> <p>(1) 調査結果 基礎や鉄筋等に不備があるもの:15校(小学校:11校, 中学校:4校)</p> <p>(2) 対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロック塀の撤去のみで安全性を確保可能な6校(小学校:白岳小外2校, 中学校:仁方中外2校)については、令和2年度末までに撤去を完了した。 残りの9校(小学校:横路小外7校, 中学校:横路中)については、令和3年度末までに危険なブロック塀を撤去し、新たにフェンスを設置した。 					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	児童生徒、教職員及び地域住民が、安心して安全な学校生活を送れるよう、危険なブロック塀を解体・撤去する。		(5) 成果指標 指標名と説明	①建築基準法施行令基準不適合及び健全度合の悪い34校については、令和2年度末までに工事を完了する。 ②新たに基礎や鉄筋等に不備が見付かった15校のうち、令和2年度末までに工事が完了できなかった9校については、令和3年度末までに工事を完了する。		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	R1(決算)	R2(決算)	R3(決算)	R4(予算)	R5(試算)		
投入資源	事業費	財源内訳							
		国庫支出金 ①	千円	22,068					
		県支出金 ②	千円						
		地方債 ③	千円	101,200	114,300	71,200			
		その他 ④	千円						
	一般財源 ⑤	千円	6,974	6,047	1,125				
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	130,242	120,347	72,325			
	人件費	人役	正規職員(7,840千円/年) ①	人役	4.00	4.00	1.00		
			再任用職員(3,578千円/年) ②	人役					
			嘱託職員(2,378千円/年) ③	人役					
上記以外 ④			千円						
【B】(①×@7,840千円+②×@3,578千円+③×@2,378千円)			千円	31,360	31,360	7,840			
フルコスト【A】+【B】		千円	161,602	151,707	80,165				
活動実績	対象指標	① 学校数(休校を含む。)	校	66	64	64			
		② 小中学校児童生徒数	人	15,323	15,060	14,846			
	活動指標	① 学校にブロック塀を有している学校数	校	47	44	44			
		② 上記の総延長	m	5,895	4,420	3,835			
	成果指標	① 建築基準法施行令不適合などのブロック塀を有している学校数	校	19	0	0			
		② 上記の総延長	m	1,103	0	0			
		③ 基礎・鉄筋等に不備があるブロック塀を有している学校数	校	15	9	0			
		④ 上記の総延長	m	957	585	0			
特記事項									

4 学識経験者の意見

- ・定期点検は、学校の教員だけでなく、専門知識がある方をお願いするなどのサポートをお願いしたい。
- ・定期的な点検だけでなく、日頃から気軽に学校と施設担当者が連携できる体制を整えておくことが大事である。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	評価結果 A	・建築基準法施行令基準不適合及び健全度合の悪い34校については、令和2年度末までに全ての改修工事を完了した。 ・基礎や鉄筋等に不備が見付かった15校のうち、6校については令和2年度末までにブロック塀の撤去を行った。残りの9校については、令和3年度末までにブロック塀の撤去・フェンスの設置を行った。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	・現時点で安全性が確認できたブロック塀についても、今後の劣化状況を把握する必要がある。	
(3) 今後の方向性	・残存ブロック塀については、日常点検(恒常的な教職員による点検)や毎年実施する公共施設点検により、健全度合いを把握し、劣化等が進んだものは、撤去、改修等を行う。	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) ・安全性が確認できたブロック塀については、公共施設点検等により健全度合いを把握し、劣化等が進んだものは、撤去、改修等を行う。	昨年度の方向性に対する取組状況 ・日常点検や公共施設点検を実施した。

令和4年度点検・評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

整理番号	3	課G名	学校施設課 施設G
点検項目	小中学校のトイレ洋式化	評価者	学校施設課長 惣引 利光
		作成年月日	令和4年5月31日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	小学校費(中学校費)		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10 学校建設費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	小学校改修費(中学校改修費)		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	小学校大規模改造事業(中学校大規模改造事業)		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・小中学校施設整備指針 ・呉市立学校施設長寿命化計画
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員並びに学校に避難する地域住民等				
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>各家庭においては、生活様式の変化により洋式トイレが主流となっているが、昭和50年代に多く建設された学校については、主に和式トイレが設置されているため、学校や保護者から洋式トイレの設置を求める声が多い。</p> <p>また、本市における小中学校のトイレの洋式化率は、32.5%(簡易洋式トイレを含む。)で、全国や広島県の平均と比較して低い状況にある。</p> <p>このため、トイレ改修による洋式化を図る。</p> <p>令和3年度は、災害時に地域住民の指定避難所になる体育館を、トイレ改修により優先的に洋式化した。</p> <p>このほかの学校施設のトイレについては計画的に改修を実施し、令和8年度のトイレ洋式化率66%を目指す。</p> <p>1 公立小中学校のトイレ洋式化率(令和2年9月1日現在) 全国 57.0% 広島県 51.4% 呉市 32.5%</p> <p>2 洋式化の基本的な考え方 (1)トイレ改修においては、原則、1階は和式トイレ1基を残し洋式化、2階以上は洋式トイレが半数以上になるよう洋式化する。 (2)校舎等の建替工事・大規模改修工事を行う場合は、全て洋式化する。</p> <p>3 令和3年度の取組状況 (1)現状調査の実施 令和3年6月に、小中学校の和式トイレと洋式トイレの数を調査した。その結果、簡易洋式トイレの使用等により、既に洋式化されている20基を確認した。 (2)トイレ改修による洋式化 体育館のトイレ改修を行い、37校57基(小学校23校39基、中学校14校18基)のトイレを洋式化した。 (3)建替工事に伴う洋式化 安浦中学校体育館の建て替えに伴い、新たに7基の洋式トイレを設置した。 (4)その他の洋式化 体育館にトイレがない小学校3校において、避難所開設時に使用する校舎のトイレ6基を洋式化した。 また、トイレの修繕が必要となった2校(小学校1校、中学校1校)において、校舎にあるトイレ2基を洋式化した。</p>				
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	学校施設は、児童生徒等にとって1日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害時には地域の避難所となることから、快適な教育環境を確保するとともに、避難所として利用する際の不便さを解消する。		(5) 成果指標 指標名と説明	①洋式トイレ数/トイレ総数 小中学校の洋式トイレ数 / 和式トイレと洋式トイレの合計 ②トイレの洋式化率 小中学校に設置するトイレの洋式化率 令和3年度37%→令和8年度66%(目標)	

3 投入資源・活動実績

区分		単位	R1(決算)	R2(決算)	R3(決算)	R4(予算)	R5(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円					
		県支出金 ②	千円					
		地方債 ③	千円			22,600	70,000	
		その他 ④	千円					
	一般財源 ⑤	千円			60			
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	0	0	22,660	70,000	
	人件費	人役	正規職員(7,840千円/年) ①	人役	0.10	0.10	0.50	0.50
			再任用職員(3,578千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,378千円/年) ③	人役				
上記以外 ④			千円			0.10	0.10	
【B】(①×@7,840千円+②×@3,578千円+③×@2,378千円)			千円	784	784	3,920	3,920	
フルコスト【A】+【B】		千円	784	784	26,580	73,920		
活動実績	対象指標	① 学校数(休校を除く。)	校	62	60	60	60	
		② 小中学校児童生徒数	人	15,323	15,060	14,666	14,366	
	活動指標	① トイレ改修実施学校数	校	4	7	41	-	
		② 洋式化トイレ数	基	5	7	72	-	
	成果指標	① 洋式トイレ数/トイレ総数	基	901/2,771	908/2,698	1,000/2,705	1,000/2,705	
		② 洋式化率	%	32.5	33.7	37.0	37.0	
特記事項	<p>・活動指数と成果指標については、トイレ改修のほかに、建設・解体・廃校や修繕による増減を計上する。また、トイレ改修実施学校数は、重複する学校を除く。</p> <p>・令和3年度の洋式トイレ数については、令和3年6月に実施したトイレの現状調査で確認した増加分を含む。</p> <p>・トイレ総数については、小便器を除く。</p>							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・もっと早くしてほしいところだ。計画的に進めてもらいたい。 ・毎日生活する子供たちに不便がないように、できるだけ短い期間で工事が終わるよう対応してもらいたい。
--

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、41校の体育館や校舎のトイレ72基を洋式化した。 ・令和4年度は、校舎にあるトイレ17校分の実施設計を実施する(工事は令和5年度)。 ・上記17校以外の学校について、計画的なトイレ改修を実施する。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>・トイレの設置数が多く、個々の施工方法等の調整に時間を要するため、関係課や学校と十分に協議し、円滑に事業を進める。</p>	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎のトイレ洋式化については、令和4～6年度に設計し、令和5～7年度に工事を行う。 ・校舎のトイレ改修を実施する際は、できる限り学校の意見を反映した整備を実施する。 	

振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要)	昨年度の方向性に対する取組状況

令和4年度点検・評価シート

		評価対象年度	令和3年度	
整理番号	4		課G名	学校教育課 小中一貫教育指導G
点検項目	小中一貫教育の推進		評価者	学校教育課長 蒲原 尚博
			作成年月日	令和4年6月1日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	10 中学校費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	05 教育振興費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	10 中学校教科等研修・研究費		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	12 小中一貫教育推進事業		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・学習指導要領 ・呉市小中一貫教育研究事業等補助金交付要綱 ・小中一貫教育推進加配講師措置要領
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 小中一貫教育推進加配講師の配置 (1) 中学校区内の小学校5・6年生の合計学級数が原則7以上となる中学校に加配講師を配置し、各教科の乗り入れ授業を行えるようにした。 (2) 小学校3年生から6年生の全クラスにおいて、外国語の授業を、週1時間以上担任とチーム・ティーチングで指導できるよう加配講師を配置し、小学校の英語教育の充実及び小中学校間の円滑な接続を図った。 2 小中一貫教育研究指定事業の実施(平成19年度～) (1) 小中一貫教育の実践的研究を行うため、中学校区を指定し、補助金を交付した。 (2) 指定中学校区による公開研究発表会を開催し、研究の成果を市内に普及させた。 令和3年度実施: 横路中学校区, 片山中学校区, 昭和中学校区, 倉橋中学校区, 安浦中学校区 3 教職員の資質向上に向けた研修会の実施 (1) 小中一貫教育推進コーディネーター研修会の実施(平成19年度～) カリキュラムマップに基づく実践及び授業改善を計画的・組織的に進めるための視点と手法を学ばせるため、外部有識者を招へいし、オンライン形式で研修会を1回実施した。 (2) 呉市「学びの革新」推進研修会 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善を進めるため、広島県教育委員会から指導主事を招へいし、オンライン形式の研修会を3回実施した。					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	義務教育9年間を修了するにふさわしい学力と社会性を育成する。		(5) 成果指標 指標名と説明	①全国学力・学習状況調査結果の全国平均との差 ②中学生の暴力行為発生件数, 中学生のいじめ認知件数, 中学生の不登校生徒数		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	R1(決算)	R2(決算)	R3(決算)	R4(予算)	R5(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円	19,035	12,979	15,622	12,000	
		県支出金 ②	千円					
		地方債 ③	千円					
		その他 ④	千円	75	80	81	86	
	一般財源 ⑤	千円	17,830	18,469	17,981	22,389		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	36,940	31,528	33,684	34,475	
	人件費	人役	正規職員(7,840千円/年) ①	人役	4.23	4.38	4.00	4.00
			再任用職員(3,578千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,378千円/年) ③	人役				
上記以外 ④			千円					
【B】(①×@7,840千円+②×@3,578千円+③×@2,378千円)		千円	33,163	34,339	31,360	31,360		
フルコスト【A】+【B】		千円	70,103	65,867	65,044	65,835		
活動実績	対象指標	① 呉市立小学校児童数(基準日5/1)	人	10,390	10,125	9,801	9,451	
		呉市立中学校生徒数(基準日5/1)	人	4,933	4,935	4,865	4,915	
		呉市立小学校教職員数	人	690	674	648	654	
		呉市立中学校教職員数	人	456	448	451	451	
	活動指標	① 研究指定校数	校	9	0	12	6	
		② 小中一貫教育研究会開催数	回	4	0	5	0	
	成果指標	①	全国学力・学習調査結果全国平均値との差(小学校国語, 中学校国語)	ポイント	小 5.2 中 2.2	中止	小 4.3 中 ▲0.6	—
			全国学力・学習調査結果全国平均値との差(小学校算数, 中学校数学)	ポイント	小 2.4 中 2.2	中止	小 0.8 中 ▲1.2	—
		②	中学生の暴力行為発生件数	件	44	35	36	—
			中学生のいじめ認知件数 中学生の不登校生徒数	件 人数	64 116	48 144	53 183	—
特記事項								

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の難しい状況の中で取り組んでいることについて評価する。 ・全国平均との比較だけでなく、結果をしっかりと分析して次に向けて取り組んでほしい。 ・成果指標について、広い視野で、別の観点から見て、項目を増やしてはどうか。
--

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">C</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策を最優先しながらも、研究指定事業等を中心に、各中学校区において授業改善を進めたが、全国学力・学習状況調査の中学校国語・数学において、全国平均を下回った。</p> <p>・生徒指導上の課題等について、中学生の暴力行為発生件数・いじめ認知件数、不登校生徒数はともに増加した。一方で、「自分にはよいところがあると思っている(呉市:R元→R3 +2.8, 県:R元→R3 +1.8)」や「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる(呉市:R元→R3 +5.9, 県:R元→R3 +2.3)」と肯定的な回答をした伸び率は、県と比較して大きい。</p> <p>・加配講師の配置により、義務教育9年間を見通した教科指導を充実させることができた。</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、児童生徒主体の「考える授業づくり」を進めるとともに、児童生徒一人一人に確かな学力を育成するため個に応じた指導の充実を図る必要がある。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症が心配で欠席している生徒を含め不登校生徒数が増加していることから、不登校の未然防止に向け、学校の実態を把握しながら、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を派遣するとともに、生徒が安心して学べる学校づくりを目指し、不登校SSRや教育支援センター「SCHOOL'S」の取組を呉市の学校に広めていく。</p> <p>・これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた研究を推進する中学校区を研究指定し、令和4年度小中で創る「未来の学び」実践事業として、研究の充実と発展、成果の普及を図る。</p>
(3) 今後の方向性	<p>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、子供の問いを生かした「考える授業」を進めるとともに、中学校区が実情に合わせて、各教科又は総合的な学習の時間を選択し、授業改善を進めていく。</p> <p>・研究指定の3中学校区の研究を進め、新たな学びの在り方に係る研究を進め、その成果を市内に普及させる。</p>
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「考える授業づくり」を進める。 ・児童生徒の実態に基づき、オンライン形式等を効果的に活用しながら研修の充実を図る。 ・五つの中学校区の研究の成果及び第3期で進めてきた実践研究のまとめを行うとともに、今後の事業展開について検討する。 <p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科等の本質を踏まえた「考える授業づくり」に向け、授業改善を進めた。 ・研修の目的・内容に応じて、オンライン・オンデマンド形式で研修を実施した。 ・五つの中学校区で研究会の成果を普及し、「未来の学び」事業の方向性を決定した。

令和4年度点検・評価シート

		評価対象年度	令和3年度
整理番号	5	課G名	学校教育課 小中一貫教育指導G
点検項目	ICTを活用した教育の推進	評価者	学校教育課長 蒲原 尚博
		作成年月日	令和4年6月1日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	46 ICT支援員派遣事業		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令、条例、個別計画等)	・学習指導要領 ・教職員用タブレット運用規定
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 教職員研修の実施</p> <p>(1) 授業支援アプリ管理者研修(各校代表教職員対象) 授業支援アプリのアカウント作成等、運用に係る具体的な操作研修を実施した。</p> <p>(2) 授業支援アプリ操作研修(希望教職員及び初任者対象) 授業等における具体的な活用方法等の研修を実施した。</p> <p>(3) 小学校プログラミング教育研修(小学校希望教職員対象) プログラミング教育用ロボット教材の授業での活用方法に係る研修を実施した。</p> <p>(4) ICT研修会(各校代表教職員対象)</p> <p>①日本教育情報化振興会(JAPET)から講師を招へいし、情報モラルについての研修を実施した。</p> <p>②各校のICT教育推進リーダーに対し、ICT教育推進に係る講話を行うとともに、各校でのタブレット端末活用事例を情報交換する研修を行った。</p> <p>(5) 授業支援アプリ基本操作研修(各校代表教職員対象) 授業支援アプリの基本操作に係る研修を実施した。</p> <p>(6) 呉市教職員研修会(市内全教職員対象) 外部有識者を講師に招へいし、タブレット端末の効果的な活用について全国的な取組事例等を交えながらの講話を視聴する研修を実施した。</p> <p>2 ICT支援員の活用(令和3年5月～) 各小中学校にICT支援員を派遣し、教職員への技術面・運用面での支援を行った。</p> <p>3 ICT活用に係るオンライン交流サイトの設立(令和2年度～) ICT活用指導力の向上を図ることを目的に、オンライン学習システムを活用した自由参加型の呉市教職員専用オンライン交流サイトを設立した。 (令和4年5月現在の参加教職員数:493名)</p>					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	タブレット端末等のICT機器を活用した教育を推進することにより、児童生徒に情報活用能力を身に付けさせ、これからの新しい時代を生きていくために必要な資質・能力を育成する。		(5) 成果指標 指標名と説明	①目的に応じて、タブレット端末を適切に活用することができる児童生徒の割合 ②児童生徒にタブレット端末の使い方の指導ができると回答した教職員の割合 ③1週間における各学級のタブレット端末を活用した授業等の実施率		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	R1(決算)	R2(決算)	R3(決算)	R4(予算)	R5(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円			14,327		
		県支出金 ②	千円					
		地方債 ③	千円					
		その他 ④	千円			37	27	
	一般財源 ⑤	千円			1	10,323		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	0	0	14,365	10,350	
	人件費	人役	正規職員(7,840千円/年) ①	人役		0.40	1.65	1.65
			再任用職員(3,578千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,378千円/年) ③	人役				
上記以外 ④			千円					
【B】(①×7,840千円+②×3,578千円+③×2,378千円)		千円	0	3,136	12,936	12,936		
フルコスト【A】+【B】		千円	0	3,136	27,301	23,286		
活動実績	対象指標	① 呉市立小学校児童数(基準日5/1)	人			9,801	9,451	
		呉市立中学校生徒数(基準日5/1)	人			4,865	4,915	
		② 呉市立小学校教職員数	人			648	654	
		呉市立中学校教職員数	人			451	451	
	活動指標	① 児童生徒状況把握	回			3	-	
		② 教職員タブレット端末活用状況把握	回			3	-	
		③ 1月当たりICT支援員の平均派遣回数	回			33	-	
	成果指標	① 目的に応じて、タブレット端末を適切に活用することができる児童生徒の割合	%			小 96 中 97	-	
		② 児童生徒にタブレット端末の使い方の指導ができると回答した教職員の割合	%			85	-	
		1週間における各学級のタブレット端末を活用した授業等の実施率	%			小 48 中 58	-	
特記事項	活動指標①②各校に対してアンケート調査を実施。 ③年間総訪問回数395回/12月							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を使うことでの健康上・発達上のリスクや友達を傷つける行為等の様々な問題が出てくると思う。そのような諸問題を把握し、未然に防止するような取組を行ってほしい。 ・子供たちがうまく使えるかどうか心配していたが、「使える。」「楽しい。」との声を聞いている。教員もよく勉強して、子供たちの学びにつなげてほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	<p>評価結果</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、タブレット端末導入初年度ということもあり、各校に対し、「とにかく使う」ように指導した。その結果、各校において、タブレット端末を当たり前のように活用する風土を醸成することができた。 ・児童生徒及び教職員を対象としたアンケート調査では、「タブレット端末は思考を広げたりすることに役立つ。」「タブレット端末の使用は、勉強の役に立つ。」等の項目において、90%以上の高い肯定的評価を受けることができた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、ねらいの達成に直接結び付かない、「使うことが目的化した」活用事例が見られる。今後は、教職員がタブレット端末の効果的な活用ができるよう指導する必要がある。 ・各校の活用事例を広く調査し、タブレット端末の効果的な活用事例を複数例把握した上で、教職員向け研修会や、教育委員会からの通知等、様々な手段を組み合わせることで確実に周知する。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等のねらいを達成するためのタブレット端末の効果的な活用ができるよう、教職員研修等、教職員が活用事例を学ぶ場を充実させる。 ・各校のICT活用を推進するために、授業補助やアカウント管理等の支援を行うICT支援員4名を計画的に派遣する。 	

振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に情報活用能力を身に付けさせるための指導ができるよう、教職員研修を充実させる。 ・各校のICT活用を推進するために、授業補助やアカウント管理等の支援を行うICT支援員6名を計画的に派遣する。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、集合・オンライン・オンデマンド等、種々の方法を組み合わせ、教職員研修を開催することができた。 ・各校からの希望を受け、ICT支援員6名を計画的に派遣することができた。学校アンケートでは、「ICT支援員の派遣は役に立ったか。」の項目に対し、ほぼ100%の肯定的評価を得た。
--------	---	---

令和4年度点検・評価シート

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

整理番号	6	課G名	学校安全課 生徒指導G
点検項目	特別支援教育の推進	評価者	学校安全課長 伊藤 賀世
		作成年月日	令和4年6月3日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	11 特別支援教育推進事業		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・特別支援教育相談員設置要綱 ・特別支援学級指導員派遣要綱 ・学校教育指導補助員派遣要綱 ・呉市就学指導委員会規則
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 特別支援学級指導員及び学校教育指導補助員の配置					
	ア 特別支援学級指導員:特別支援学級における児童生徒の指導の援助					
	イ 学校教育指導補助員:通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒の指導の援助					
		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	人数	派遣校	人数	派遣校	人数	派遣校
	特別支援学級指導員	51人	30校	52人	29校	52人 29校
	学校教育指導補助員	58人	32校	55人	33校	58人 35校
	2 教職員の指導力向上及び特別支援教育推進のための環境・体制づくり					
	(1) 専門家の巡回相談による校内研修の実施					
	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	37校	80回	41校	72回	37校	64回
	(2) 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子」)」の取組を全ての小中学校で実施					
	3 就学指導の充実に向けた取組					
	(1) 就学相談を受けた就学前児童数					
	(()内は就学指導方針と異なる就学先を決定した児童の割合)					
	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	78人(10%)	84人(11%)	102人(27%)			
	(2) 呉市ホームページへの掲載や就学相談案内の配布等による積極的な周知・働き掛け					
	(3) 呉市内の全保育所・幼稚園との連携を基にした丁寧な就学相談や就学指導の実施					
	4 保幼小中連携の充実に向けた取組					
	(1) 保幼小中で様式を統一した「個別の教育支援計画」による連携					
	(2) 「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の活用状況について実態調査を実施					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	
	<input type="checkbox"/> 指定管理者		<input type="checkbox"/> 補助事業		<input type="checkbox"/> その他	
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	・障害のある児童生徒の自立や社会参画につなげるため、個々の実態に応じて適切な指導及び必要な支援を行う。			(5) 成果指標 指標名と説明		
	・教職員の指導力を向上する。					
				①特別支援学級指導員の必要人数に対する配置人数 ②学校教育指導補助員の必要人数に対する配置人数		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	R1(決算)	R2(決算)	R3(決算)	R4(予算)	R5(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円	60,563	60,000	63,500	50,000	
		県支出金 ②	千円					
		地方債 ③	千円					
		その他 ④	千円	412	476	505	519	
	一般財源 ⑤	千円	100,479	120,642	127,161	145,280		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	161,454	181,118	191,166	195,799	
	人件費	人役	正規職員(7,840千円/年) ①	人役	1.20	1.20	1.20	1.20
			再任用職員(3,578千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,378千円/年) ③	人役				
上記以外 ④			千円					
【B】(①×⑦,840千円+②×③,578千円+③×②,378千円)		千円	9,408	9,408	9,408	9,408		
フルコスト【A】+【B】		千円	170,862	190,526	200,574	205,207		
活動実績	対象指標	① 特別支援学級在籍児童生徒数(児童数)	人	412 (308)	436 (327)	456 (331)	500 (359)	
		② 通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒数(児童数)	人	397 (264)	460 (287)	426 (246)	404 (222)	
	活動指標	① 特別支援学級指導員配置数	人	51	52	52	52	
		② 学校教育指導補助員配置数	人	58	55	58	58	
	成果指標	① 特別支援学級指導員の配置人数/必要人数	人	51/51	52/52	52/52	52/52	
		② 学校教育指導補助員の配置人数/必要人数	人	58/58	55/58	58/58	58/58	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費には、特別支援学級指導員、特別支援教育相談員及び学校教育指導補助員の報酬を含む。 ・財源内訳の①「国庫支出金」は、特定防衛施設周辺整備調整交付金。 							

4 学識経験者の意見

- ・特別支援学級の児童生徒数が増えているが、配置数は増えていないので、現場がうまく回っているか心配だ。
- ・学校とよく連携し、子供の実態に合わせた適正な人員配置ができるよう、予算を確保してもらいたい。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	<p>評価結果</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の実態に応じた特別支援学級指導員及び学校教育指導補助員の配置ができた。 ・「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成・活用状況について、保幼小中での活用状況等を把握することで、個に応じた指導、支援につなげることができた。 ・就学相談及び教育相談において、聴取項目を明確にして幼児児童生徒の実態を正確に把握することで、実態に応じた就学指導を行うことができた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級に在籍する児童生徒が年々増加傾向にある。 ・「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」について、対象となる児童生徒に対して、確実に作成及び活用することができるよう、特別支援教育コーディネーターが中心となって校内で共通理解を図り、取組を進める必要がある。 ・特別支援教育コーディネーターが中心となり、保護者との連携を図りながら校内においての継続的な支援及び取組を進める必要がある。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県教育委員会の指定事業である特別支援学級支援プロジェクト事業(指定校:広中央中)の取組の充実を図る。また、指定校の取組を各校に広げることにより、特別支援教育コーディネーターの人材育成を図る。 ・就学相談及び教育相談を通して、特別な支援を必要とする児童生徒の実態や状況をより早い段階で把握し、特別支援学級指導員又は学校教育指導補助員の適切な配置について検討する。 	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学相談及び教育相談を通して、特別な支援を必要とする児童生徒の実態や状況をより早い段階で把握し、特別支援学級指導員又は学校教育指導補助員の増員を検討する必要がある。 ・「個別の教育支援計画」の活用の工夫を通じて、保幼小中連携の更なる充実を図る。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動日誌等を通して、各小中学校の課題を把握することで、実態に応じた特別支援学級指導員・学校教育指導補助員の適正な配置と効果的な活用ができた。 ・「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成や活用、「障害特性に応じた指導・支援のあり方」等、様々な研修を実施した。

令和4年度点検・評価シート

評価対象年度	令和3年度
---------------	--------------

整理番号	7	課G名	学校安全課 生徒指導G
点検項目	生徒指導の充実	評価者	学校安全課長 伊藤 賀世
		作成年月日	令和4年6月3日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト	
	款	19	教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連	
	項	01	教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画	
	目	10	教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画	
	事業	10	教育指導費		12 適応指導費	<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	30	生徒指導推進事業		10 児童生徒適応指導事業	事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務				実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・生徒指導員派遣要綱 ・呉市自立支援サポート委員会設置要綱 ・呉市いじめ問題等調査委員会条例
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの					
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務					

2 点検項目の概要

(1) 対象	呉市立小中高等学校の児童生徒																																				
誰・何を対象に																																					
(2) 事業概要 (事業内容)	1 問題行動が起こりにくい落ち着いた環境づくり																																				
	(1) 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子)」の取組の推進と徹底 2 いじめの未然防止, 早期発見・早期対応のための生徒指導体制づくり (1) いじめアンケートや個人面談等を通じた情報把握及び情報共有を基にした学校体制による早期対応の徹底 (2) 「いじめ撲滅キャンペーン」の実施 (3) いじめに係る初期対応等について, 各学校の生徒指導規程や学校いじめ防止基本方針に沿って対応することの徹底及び生徒指導体制の確立 3 問題行動の未然防止に向けた取組																																				
手段・方法・年次計画など	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 10%;">令和元年度</th> <th style="width: 10%;">令和2年度</th> <th style="width: 10%;">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)</td> <td style="text-align: center;">73</td> <td style="text-align: center;">78</td> <td style="text-align: center;">81</td> </tr> <tr> <td>メンタルフレンド派遣回数(回)</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">49</td> </tr> <tr> <td>スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)</td> <td style="text-align: center;">331</td> <td style="text-align: center;">386</td> <td style="text-align: center;">289</td> </tr> </tbody> </table> <生徒指導上の諸問題の状況> (小中高合計) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 10%;">令和元年度</th> <th style="width: 10%;">令和2年度</th> <th style="width: 10%;">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暴力行為発生件数(件)</td> <td style="text-align: center;">63</td> <td style="text-align: center;">62</td> <td style="text-align: center;">52</td> </tr> <tr> <td>いじめ認知件数(件)</td> <td style="text-align: center;">256</td> <td style="text-align: center;">129</td> <td style="text-align: center;">124</td> </tr> <tr> <td>不登校児童生徒数(人)</td> <td style="text-align: center;">181</td> <td style="text-align: center;">232</td> <td style="text-align: center;">322</td> </tr> </tbody> </table>					項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)	73	78	81	メンタルフレンド派遣回数(回)	11	45	49	スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)	331	386	289	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	暴力行為発生件数(件)	63	62	52	いじめ認知件数(件)	256	129	124	不登校児童生徒数(人)	181	232	322
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																		
呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)	73	78	81																																		
メンタルフレンド派遣回数(回)	11	45	49																																		
スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)	331	386	289																																		
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																		
暴力行為発生件数(件)	63	62	52																																		
いじめ認知件数(件)	256	129	124																																		
不登校児童生徒数(人)	181	232	322																																		
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他																																				
(4) 意図・目的	一人一人の児童生徒の人格を尊重し, 個性の伸長を図りながら, 自己指導能力の育成及び社会的資質や行動力の向上を図る。																																				
						対象をどのような状態にしたいのか																															
(5) 成果指標	指標名と説明	①暴力行為発生件数 ②いじめ認知件数 ③不登校児童生徒数																																			

3 投入資源・活動実績

区分		単位	R1(決算)	R2(決算)	R3(決算)	R4(予算)	R5(試算)	
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円	14,722	12,539	14,670	11,700	
		県支出金 ②	千円	800	8,601	2,567	4,694	
		地方債 ③	千円					
		その他 ④	千円	75	109	90	93	
	一般財源 ⑤	千円	22,700	25,958	19,242	23,312		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	38,297	47,207	36,569	39,799	
	人件費	人役	正規職員(7,840千円/年) ①	人役	3.80	3.80	3.80	3.80
			再任用職員(3,578千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,378千円/年) ③	人役				
上記以外 ④			千円					
【B】(①×7,840千円+②×3,578千円+③×2,378千円)		千円	29,792	29,792	29,792	29,792		
フルコスト【A】+【B】		千円	68,089	76,999	66,361	69,591		
活動実績	対象指標	① 小中高等学校児童生徒数	人	15,801	15,539	15,133	14,828	
		②						
	活動指標	① 呉市スクールカウンセラー派遣回数	回	73	78	81	—	
		② メンタルフレンド年間派遣回数	回	11	45	49	—	
		③ スクールソーシャルワーカー派遣校における課題解決・好転率	%	88	74	90	—	
	成果指標	① 暴力行為発生件数	件	63	62	52	—	
		② いじめ認知件数	件	256	129	124	—	
		③ 不登校児童生徒数	人	181	232	322	—	
	特記事項							

4 学識経験者の意見

- ・問題行動の未然防止に向けて丁寧に取り組んでいる。継続してほしい。
- ・不登校の要因に無気力・不安が多いとのことだが、なぜ無気力・不安になったのかという分析が大事だと思う。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	評価結果	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呉市のスタンダード」の取組については、呉市内全体に徹底されている。 ・校長会や教頭会、生徒指導部会等において、いじめ等の問題行動に係る初期対応について各学校の生徒指導規程や学校いじめ防止基本方針に沿って対応することの徹底を図った。 ・生徒指導を援助するための生徒指導員や学校生活への適応が困難である児童生徒に対する指導を援助するための学校生活適応支援員を配置し、不登校児童生徒の支援等を行ったが、不登校児童生徒数は増加傾向にある。 ・問題行動の未然防止に向けた取組として、学校の実態を把握しながら、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を適切に派遣することができた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ事案や問題行動に対し、「いじめ対応マニュアル」や「生徒指導規程」に沿った初期対応が不十分で、事案の対応が長期化するケースがあるため、マニュアル等を確認しながら組織的に対応することが必要である。 ・不登校児童生徒数については増加傾向であり、引き続き、不登校未然防止の取組を推進するとともに、不登校児童生徒への支援として、不登校となった背景、要因を的確に把握し、一人一人に応じたきめ細かな支援及び社会的自立へ向けた進路の選択肢を広げる取組を組織的・計画的に行う必要がある。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや暴力行為、不登校等の未然防止及び初期対応について、生徒指導主事等を中心とした研修の実施を通して組織的に取り組むことができる生徒指導体制を確立する。 ・不登校児童生徒への支援として、広島県教育委員会が実施する支援事業(不登校SSR推進校、教育支援センター「SCHOOL'S」)の積極的な活用に向けて、各校への情報発信を行う。 	

振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや暴力行為、不登校等の未然防止及び初期対応について、教職員研修の実施等を通して組織的に取り組むことができる生徒指導体制を確立する。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長会や教頭会、生徒指導部会において、いじめ等の問題行動に係る初期対応について、各学校の生徒指導規程や学校いじめ防止基本方針に沿って対応することの徹底を図った。 ・不登校児童生徒の支援の在り方について、生徒指導主事等研修会を開催した。
--------	---	--

令和4年度点検・評価シート

評価対象年度 令和3年度

整理番号	8	課G名	学校安全課 保健体育G
点検項目	安全対策の推進	評価者	学校安全課長 伊藤 賀世
		作成年月日	令和4年5月30日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19	教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	01	教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10	教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	10	教育指導費		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	08	学校安全推進事業		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・呉の子どもを守る会議設置要綱 ・呉市小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの				
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務				

2 点検項目の概要

(1) 対象	誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒																																																				
(2) 事業概要 (事業内容)	手段・方法・年次計画など	1 登下校の安全対策 (1) 「呉子ども交通安全推進隊」による活動の実施(全小学校で年7回以上) (2) 「交通安全教室」(全小中学校)及び小学校入学前の交通安全指導の実施(全小学校) (3) 通学路の危険箇所の改善要望に対する対応 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要望箇所(件)</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">88</td> </tr> <tr> <td>合同点検回数(回)【実施率】</td> <td style="text-align: center;">5【100%】</td> <td style="text-align: center;">4【100%】</td> <td style="text-align: center;">88【100%】</td> </tr> <tr> <td>改善件数(件)</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">60</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※ 令和3年度については、千葉県八街市の交通事故を受け、緊急合同点検を実施したため要望箇所及び改善件数が増加 〈交通事故発生件数〉【 】は登下校中の発生件数</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計(件)</td> <td style="text-align: center;">9【5】</td> <td style="text-align: center;">11【9】</td> <td style="text-align: center;">7【5】</td> </tr> </tbody> </table> (4) 防犯プランに基づく防犯の視点での通学路の安全点検 2 防災対策 (1) 平成30年7月豪雨災害を受けた自然災害対応マニュアルの見直し (2) 「呉市防災教育のための手引き」に基づいた防災教育の実施と実践事例集の作成 (3) 「自然災害対応マニュアル」に基づいた避難訓練の実施 (4) 7月6日を含む1週間を「呉市学校防災週間」と位置付け、地域の防災リーダーを招いた防災教室や地域の教材を生かした学習等、各校の実情に応じた取組を行う。 〈防災・防犯訓練実施状況〉 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計(回)【実施校数】</td> <td style="text-align: center;">209【全62校】</td> <td style="text-align: center;">253【全60校】</td> <td style="text-align: center;">257【全60校】</td> </tr> </tbody> </table> 3 安全対策に係る情報発信 〈学校メール配信システムの運用状況〉 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録件数(件)</td> <td style="text-align: center;">14,241</td> <td style="text-align: center;">16,917</td> <td style="text-align: center;">17,451</td> </tr> <tr> <td>保護者登録件数(件)</td> <td style="text-align: center;">12,291</td> <td style="text-align: center;">15,345</td> <td style="text-align: center;">15,802</td> </tr> <tr> <td>地域・教職員等登録件数(件)</td> <td style="text-align: center;">1,071</td> <td style="text-align: center;">1,572</td> <td style="text-align: center;">1,613</td> </tr> <tr> <td>発信件数(件)</td> <td style="text-align: center;">2,956</td> <td style="text-align: center;">3,333</td> <td style="text-align: center;">3,732</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	令和2年度	令和3年度	要望箇所(件)	5	4	88	合同点検回数(回)【実施率】	5【100%】	4【100%】	88【100%】	改善件数(件)	4	4	60		令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計(件)	9【5】	11【9】	7【5】		令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計(回)【実施校数】	209【全62校】	253【全60校】	257【全60校】		令和元年度	令和2年度	令和3年度	登録件数(件)	14,241	16,917	17,451	保護者登録件数(件)	12,291	15,345	15,802	地域・教職員等登録件数(件)	1,071	1,572	1,613	発信件数(件)	2,956	3,333	3,732
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																			
要望箇所(件)	5	4	88																																																			
合同点検回数(回)【実施率】	5【100%】	4【100%】	88【100%】																																																			
改善件数(件)	4	4	60																																																			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																			
合計(件)	9【5】	11【9】	7【5】																																																			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																			
合計(回)【実施校数】	209【全62校】	253【全60校】	257【全60校】																																																			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																			
登録件数(件)	14,241	16,917	17,451																																																			
保護者登録件数(件)	12,291	15,345	15,802																																																			
地域・教職員等登録件数(件)	1,071	1,572	1,613																																																			
発信件数(件)	2,956	3,333	3,732																																																			
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他																																																					
(4) 意図・目的	対象をどのような状態にしたいのか	・児童生徒一人一人の「自らの命は自らが守る」力を育成する。 ・「不審者情報」や「防災・災害情報」等の配信により、児童生徒の安全を確保する。																																																				
(5) 成果指標	指標名と説明	①交通事故発生件数 ②通学路の危険箇所の改善要望に対する改善件数 ③学校メール配信システムの発信件数																																																				

3 投入資源・活動実績

投入資源		区分	単位	R1(決算)	R2(決算)	R3(決算)	R4(予算)	R5(試算)
事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円					
		県支出金 ②	千円					
		地方債 ③	千円					
		その他 ④	千円	4	1			
		一般財源 ⑤	千円	5,059	273	969	5,002	
		【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	5,063	274	969	5,002	
人件費	人役	正規職員(7,840千円/年) ①	人役	1.30	1.30	1.30	1.30	
		再任用職員(3,578千円/年) ②	人役					
		嘱託職員(2,378千円/年) ③	人役					
		上記以外 ④	千円					
		【B】(①×7,840千円+②×3,578千円+③×2,378千円)	千円	10,192	10,192	10,192	10,192	
フルコスト【A】+【B】			千円	15,255	10,466	11,161	15,194	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	15,323	15,060	14,666	14,366	
		② 通学路の危険箇所数	箇所	266	268	275	—	
	活動指標	① 安全指導実施回数	回	2,336	1,894	1,915	—	
		② 通学路の危険箇所の改善要望件数	件	5	4	88	—	
		③ 学校メール配信システムの登録件数	件	14,241	16,917	17,415	—	
	成果指標	① 交通事故発生件数	件	9	11	7	—	
		② 通学路の危険箇所の改善要望に対する改善件数	件	4	4	60	—	
		③ 学校メール配信システムの発信件数	件	2,956	3,333	3,732	—	
	特記	<p>・活動指標①「安全指導実施回数」は、「交通安全教室」「防災訓練」「非行防止教室」の実施回数の合計</p> <p>・令和3年度については、千葉県八街市の交通事故を受け、緊急合同点検を実施したため活動指標②「改善要望件数」及び成果指標②「改善件数」が増加</p>						

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で安全指導などが難しくなっているようだが、タブレット端末を活用してオンラインでの指導など工夫して行ってほしい。 ・地域と学校が密に連携し、子供たちの安全を守るなど、学校や行政だけでなく地域を巻き込んだ取組を行ってほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	<p>評価結果</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の実情に応じて「呉市防災教育のための手引き」に基づいた実践を行い、実践事例集としてまとめ、各校に配布した。 ・出水期までに、大雨を想定した防災訓練を実施するとともに、「土砂災害対応携帯マニュアル」を呉市立小中学校の全児童生徒に配付し、警戒レベルの段階ととるべき避難行動などについて指導した。 ・「呉市学校防災週間」を設け、地域の防災リーダーを招いたり、地域の教材を活用したりし、各校の実情に応じた防災教育に取り組むことができた。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の改善を組織的・計画的に推進した。また、千葉県八街市の交通事故を受け、通学路の緊急合同点検を実施し、危険箇所の改善につなげた。 ・交通事故発生件数が減少し、命に関わる重大な交通事故も発生しなかった。 ・学校配信メールシステムについて、保護者の登録件数、発信件数が増加した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・出水期までに水害に対する取組とともに、地震・津波に対する取組も充実させることにより、防災教育の更なる充実を図る必要がある。自分が住む地域に起こりやすい災害について理解させる指導、災害時に避難する場所や避難の仕方について理解させる指導を行う。 ・通学路の危険箇所について、関係機関と連携し、改善を進める。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・出水期までの防災教育の取組を確実に実施する。また、各校の防災訓練の内容を充実させるために特色ある防災訓練を積極的に情報発信していくとともに、地域の教材や人材についても学校に情報提供していく。さらに、家庭を巻き込んだ防災教育の推進に向けて働き掛けるとともに、各校に実践例を積極的に情報発信していく。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策を継続して実施するとともに、緊急合同点検で調査した危険箇所について、改善対策を関係機関と連携して実施する。 ・学校メール配信システムの登録拡充に向けて、機会を捉え、地域・教職員等への周知を図る。 	

振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出水期までの防災教育の取組を確実に実施する。また、「呉市防災教育のための手引き」に基づいた取組に加え、令和2年度から7月に「呉市学校防災週間」を設け、防災教育の更なる充実を図る。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策を継続して実施するとともに、安全マップに基づいた交通安全指導や防犯指導の徹底を図る。 ・学校メール配信システムの登録拡充に向けて、機会を捉え、保護者等への周知を図る。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で防災訓練を実施するとともに、「呉市防災教育のための手引き」を活用した授業の様子を実践事例集としてまとめた。 ・オンライン情報共有システムを活用し、実践事例を情報発信したが、各校の情報交換までには至らなかった。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」及び千葉県八街市の交通事故を受け実施した緊急合同点検に基づく改善対策を関係機関と連携して実施した。 ・学校メール配信システムについては、未登録保護者に積極的に登録を勧めた結果、登録数の増加につながった。
--------	--	--